

【伝統医療看護連携研究 論文投稿規定】

I. 投稿内容

東洋医学・柔道整復学等の伝統医学、看護学および関連諸科学の発展に貢献する内容とする。

II. 投稿資格

投稿に関し筆頭著者は、会員であることを条件とする（その他の共同執筆者はその限りではありません）。

III. 応募上の注意

1. 1 巻につき筆頭者著者 1 人 1 題とする。
2. 他雑誌や大会等で発表済みの演題は応募しないでください。
3. 著作権については、会員の権利保護のために、掲載された原稿の著作権は本学会に属するものとする。帰属する資料を引用する場合は、著者がその許可手続きを行うこととする。論文・抄録は、学会誌に掲載されるほか、オンライン公開される。
4. 採択された演題の取り消しはできません。

IV. 原稿の区分

原著論文、研究ノート、症例・事例報告、総説、解説・意見、学会報告、書評、学生論文 のいずれかとする。

1. 原著論文

方法や結果に独創性や新規性が認められる実証的、実践的、理論的な研究を指し、その発展に役立つ内容を順序立てて明瞭に記述したもの。

2. 研究ノート

オリジナルな学術研究、調査、事例などをまとめた研究報告であり、独創性や新規性のみならず、有用性、速報性などの観点からも会員が広く関心を持つと思われるもの。原著論文の短縮版を想定している。

※本学会では、本学会誌に掲載された研究ノートを発展・充実させた論文については、二重投稿の対象としていませんので、投稿可能です。

3. 症例・事例報告

独創性に富み、新しい知見を含む症例・事例の経過をまとめたもの。

4. 総説

国内外の諸研究を広く検討し、独自の観点から総合的に概観したもの。

5. 解説・意見

専門的な内容を非専門家にも理解できるように

分かり易く説明したもの。

6. 学会報告

学会開催および参加報告をまとめたもの。

7. 書評

会員に有用な文献の批評や単なる文献紹介にとどまらず、オリジナルな批評を含むもの。著者等から書評掲載依頼があった場合は、編集委員会において採否を決定し、執筆を依頼する。

8. 学生論文

学生会員により執筆されたもの。

V. 原稿形式・投稿原稿

1. 投稿原稿は、原則として和文とする。
2. 作成ソフトは Microsoft 社製 Word (Windows 版、Mac 版) を用いること。
3. 原稿用紙は、A4 用紙を使用し、余白：上 25cm、下 30cm、左右 25cm とする。
4. 文字サイズは、10.5 ポイント、和文フォントは MS 明朝で全角、英文及びアラビア数字は Times New Roman 半角とする。
5. 1 ページあたりの文字数は 1,600 字とする。
6. 原則として、表紙を含まず(図・表を含めて)、原稿用紙 10 ページ以内とする。
7. ページ番号は、本文 1 ページ目から最終ページまで、通し番号を用紙の中央下部に付記する。

VI. 原稿の構成

1. ページ設定

- (1) 1 ページ目：表紙(表題、副題、執筆者、所属先、要旨、キーワード)
- (2) 2 ページ目以降：本文

2. 表紙

- (1) 表題：24 字以内
- (2) 副題：35 字以内
- (3) 表題・副題(英文)：※各単語の語頭を大文字で記載する。(冠詞・前置詞・接続詞などの短い語は小文字とする)。
- (4) 執筆者
- (5) 執筆者(英文)：姓名の順で記載し、姓名との間は 1 文字分空ける。姓は、全て大文字とする。名は、文頭の文字のみ大文字。以下は小文字とする。
- (6) 執筆者所属先：著者は、所属を記載し、学校名、学部名(学部が無い場合は不要)、学科名の順に列記をする。共著者がいる場合は「, (コン

マ半角)」で列記する。

(7) 要旨：800 字以内

(8) キーワード：キーワードに内容を的確に示す言葉を選び、5 語以内とする。

(9) Abstract (英文要旨)：800 語以内。各自英文校閲を受けたもののみ受け付ける。

(10) キーワード(英文)：キーワードに内容を的確に示す言葉を選び、5 語以内とする。※各単語の語頭を大文字で記載する。(冠詞・前置詞・接続詞などの短い語は小文字とする)。

(11) 筆頭者連絡先：所定の位置に、筆頭者名、所属先住所、所属先名、電話番号、E-mail

3. 本文

(1) 本文

① フォントは、MS 明朝 10.5pt とする。

(2) 図・表(グラフ)・写真

① 図表等は本文ファイルとは別に添付し、図表等の挿入希望位置を本文中()にて指定する。

<記載例> ……である(表1)。

② 図・表(グラフ)・写真 1 枚の刷り上がりの大きさと文字数の換算の目安は、1/4 程度(450 字)、1/2 程度(900 字)、1 枚程度(1,800 字)のいずれかに相当する。

③ 番号、題名の位置は、表(グラフ)は上に、図・写真は下に記載する。図・表(グラフ)・写真の内容がよく理解できる説明を記載する。カラーで提出した場合、ネット上にはカラーで掲載するが、冊子印刷はモノクロとなるので、モノクロでもよく識別できるようなカラーとして作成すること。文字サイズ等に十分配慮する。

※図・表(グラフ)写真は、相当な字数を消費しますので、注意すること。

(3) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行研究を検討した旨を明記する。

(4) 見出し番号

節にあたる見出し番号については、I、II…、1、2…、(1)、(2)…、①、②…という順で適宜使用する。

(5) 本文および文献等の作成方法

① 和文原稿には、現代仮名遣いによる平仮名および常用漢字を用いることを原則とする。

② 本章中の句読点は「、」「。」の組み合わせに統

一する。

③ アルファベット、数字、ハイフンおよび各種記号等は原則として半角とする。

④ 一般的な外国語の人名、述語、物質名等には、カタカナを用いることを原則とする。

⑤ 引用文が数行にわたるときは、前後各 1 行ずつあけ、かつ、左側を全角 2 字分の字下げして、引用であることを明示すること。字体は、本文と同じ MS 明朝体とする(イタリック体や「」は使用不可)上記を投稿規程に追記する。

⑥ 文章中の元素名、化学物質名は、原則として和名で書く。

⑦ 数字は、原則として算用数字を用いる。生物の学術名はイタリックとする。

⑧ 単位は、原則として国際単位系により慣用されているものを用いる。

(6) 倫理的配慮

倫理的配慮とは、主に以下のこととする。

対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている。対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている。個人データが守秘され、プライバシーが保護されていること。症例・事例報告の場合は、人を対象とする倫理指針の適用外であり倫理審査は不要であるが、対象者には同意を得ておく必要がある。倫理審査にて承認されている場合は、①機関名、②承認番号、③承認年月日を文中に記載する。

<記載例> 対象者は、口頭による募集を原則とした。その結果参加の意思を示したすべての対象者には、文章と口頭により、プライバシーの保護と本研究の目的および方法、研究期間、研究への参加は任意であること、研究への参加に同意しなくとも不利益を被らないこと、研究への参加に同意したあとでもこれを撤回できることを説明し、同意を得た。また、本研究は日本伝統医療看護連携学会倫理審査委員会にて承認を得た(△△△△委員会、承認番号：△△-△△、承認日△月△日)。
<記載例> 本研究は、参加者の個人情報保護と治療データを匿名加工し発表することを文書と口頭で説明を行い書面にて同意を得た。

(7) 利益相反

一般的には、ある行為が、一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為をいう。法律的には、さまざまな利益相反行為が禁止ないし制限されているが、医療との関係では、臨床研究における利益相反行為が重要である。

利益相反は見出しを設けて記載すること。

＜記載例＞（利益相反がない場合）開示すべき利益相反状態はない。

＜記載例＞（利益相反がある場合）この研究の〇％は、×××からの支援により行った。

著者〇〇〇〇は、×××との間に利益相反を有する。

(8) 引用・参考文献の記載方法

※引用・参考文献の記載方法は、「,」「.」の組み合わせに統一する。①文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。

●図書

【全体を利用した場合】

著者名. 書名. 訳者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年.

・著者が複数の場合は、最初の1名のみを記載し、ほか(etal.)で省略してもよい

【特定のページを利用した場合】

著者名. 論文名(見出し名). 書名. 編者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. はじめのページおわりのページ.

【辞書・事典の1項目】

著者名. 項目名. 書名. 巻次. 編者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. はじめのページおわりのページ.

・巻次がない場合、書名はピリオドで区切る

【雑誌論文】

著者名. 論文名. 誌名. 巻数. 号数. 出版年. はじめのページおわりのページ.

・「巻数」、「号数」は、どちらか一方のみしか持たない雑誌も多い

【新聞記事】

著者名. 記事タイトル. 新聞名. 発行年月日. 朝
夕刊. 版. 該当ページ.

●インターネット

【電子書籍全体を利用】

著者名. 書名. 訳者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. 総ページ数. 入手先. 入手日付.

【電子ジャーナルの論文】

著者名. 論文名. 誌名. 巻数. 号数. 出版年. はじめのページおわりのページ. 入手先. (入手日付).

【新聞記事(データベース・新聞社のサイトの記事)】

著者名. 記事タイトル. 新聞名. 発行年月日. 朝夕刊. 版表示. 該当ページ. サイト名(データベース名). 入手先. (入手日付).

【ウェブページ】

著者名. ウェブページの題名. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先. (入手日付).

(9) 投稿

① 原稿提出時には、原稿ファイルを提出する。投稿ファイルの提出は、学術誌編集員が指定した方法で行う。

② 投稿に関する問い合わせ等の窓口は事務局とする。

jstnap@akamon.ac.jp

〔附則〕

2019年07月17日	施行
2020年07月31日	改正
2020年10月05日	改正
2020年12月16日	改正
2021年01月26日	改正
2021年05月01日	改正
2024年10月25日	改正
2025年06月05日	改正

【伝統医療看護連携研究 抄録投稿規定】

I. 投稿内容

東洋医学・柔道整復学等の伝統医学、看護学および関連諸科学の発展に貢献する内容とし他の雑誌等に未発表のものに限る。

II. 投稿資格

投稿に関し筆頭著者は、会員であることを条件とする(その他の共同執筆者はその限りではありません)。

III. 応募上の注意

1. 1巻につき筆頭者著者1人1題とする。
2. 他雑誌や大会等で発表済みの演題は応募しないでください。
3. 著作権については、会員の権利保護のために、掲載された原稿の著作権は本学会に属するものとする。帰属する資料を引用する場合は、著者がその許可手続きを行うこととする。論文・抄録は、学会誌に掲載されるほか、オンライン公開される。
4. 採択された演題の取り消しはできません。

IV. 原稿形式・投稿原稿

1. 投稿原稿は、原則として和文とする。
2. 作成ソフトはMicrosoft 社製 Word(Windows 版、Mac 版)を用いること。
3. 原稿用紙は、A4 用紙を使用すること。
4. 文字数は1,000 字以内とする。図表の挿入は不可とする。
5. 演題名(40 字以内)、副題(30 字以内)、演者名、所属先(所属を記載し、学校名、学部名(学部が無い場合は不要)、学科名の順に列記をする。共演者がいる場合は「, (コンマ半角)」で列記する)

V. 原稿の構成

1. 原稿は、原則として「目的」、「方法」、「倫理的配慮」、「結果」、「考察」、「キーワード」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。なお、発表内容が症例(事例)報告の場合は、「方法」を「症例(事例)の概要」また、「結果」と「考察」は「結果及び考察」としても構わない。とくに引用・参考文献を記載する場合は、最低限の記載とする。
2. 見出し番号
節にあたる見出し番号については、I、II…、1、2…、(1)、(2)…、①、②…という順で適宜使用する。
3. 本文および文献等の作成方法
 - (1) 和文原稿には、現代仮名遣いによる平仮名および常用漢字を用いることを原則とする。
 - (2) 本章中の句読点は「,」「。」の組み合わせに統一する。
 - (3) アルファベット、数字、ハイフンおよび各種記

号等は原則として半角とする。

- (4) 一般的な外国語の人名、述語、物質名等には、カタカナを用いることを原則とする。
- (5) 引用文が数行にわたるときは、前後各1行ずつあけ、かつ、左側を全角2字分の字下げして、引用であることを明示すること。字体は、本文と同じMS 明朝体とする(イタリック体や「」は使用不可)上記を投稿規程に追記する。
- (6) 文章中の元素名、化学物質名は、原則として和名で書く。
- (7) 数字は、原則として算用数字を用いる。生物の学術名はイタリックとする。
- (8) 単位は、原則として国際単位系により慣用されているものを用いる。

4. 倫理的配慮

倫理的配慮とは、主に以下のこととする。

対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている。対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている。個人データが守秘され、プライバシーが保護されていること。症例・事例報告の場合は、人を対象とする倫理指針の適用外であり倫理審査は不要であるが、対象者には同意を得ておく必要がある。倫理審査にて承認されている場合は、①機関名、②承認番号、③承認年月日を文中に記載する。

<記載例> 対象者は、口頭による募集を原則とした。その結果参加の意思を示したすべての対象者には、文章と口頭により、プライバシーの保護と本研究の目的および方法、研究期間、研究への参加は任意であること、研究への参加に同意しなくとも不利益を被らないこと、研究への参加に同意したあとでもこれを撤回できることを説明し、同意を得た。また、本研究は日本伝統医療看護連携学会倫理審査委員会にて承認を得た(△△△△委員会、承認番号:△△-△△、承認日△月△日)。
<記載例> 本研究は、参加者の個人情報の保護と治療データを匿名加工し発表することを文書と口頭で説明を行い書面にて同意を得た。

5. 利益相反

一般的には、ある行為が、一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為をいう。法的には、さまざまな利益相反行為が禁止ないし制限されているが、医療との関係では、臨床研究における利益相反行為が重要である。利益相反は見出しを設けて記載すること。

<記載例> (利益相反がない場合) 開示すべき利益相反状態はない。

<記載例> (利益相反がある場合) この研究の○%は、×××からの支援により行った。著者○

〇〇〇は、×××との間に利益相反を有する。

6. 引用・参考文献の記載方法

※引用・参考文献の記載方法は、「,」「.」の組み合わせに統一する。①文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。

●図書

【全体を利用した場合】

著者名. 書名. 訳者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年.

・著者が複数の場合は、最初の1名のみを記載し、ほか(etal.)で省略してもよい

【特定のページを利用した場合】

著者名. 論文名(見出し名). 書名. 編者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. はじめのページおわりのページ.

【辞書・事典の1項目】

著者名. 項目名. 書名. 巻次. 編者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. はじめのページおわりのページ.

・巻次がない場合、書名はピリオドで区切る

【雑誌論文】

著者名. 論文名. 誌名. 巻数. 号数. 出版年. はじめのページおわりのページ.

・「巻数」、「号数」は、どちらか一方のみしか持たない雑誌も多い

【新聞記事】

著者名. 記事タイトル. 新聞名. 発行年月日. 朝夕刊. 版. 該当ページ.

●インターネット

【電子書籍全体を利用】

著者名. 書名. 訳者名. 版表示. 出版地. 出版社. 出版年. 総ページ数. 入手先. 入手日付.

【電子ジャーナルの論文】

著者名. 論文名. 誌名. 巻数. 号数. 出版年. はじめのページおわりのページ. 入手先. (入手日付).

【新聞記事(データベース・新聞社のサイトの記事)】

著者名. 記事タイトル. 新聞名. 発行年月日. 朝夕刊. 版表示. 該当ページ. サイト名(データベース名). 入手先. (入手日付).

【ウェブページ】

著者名. ウェブページの題名. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先. (入手日付).

7. 投稿

① 原稿提出時には、原稿ファイルを提出する。投稿ファイルの提出は、学術誌編集員が指定した方法で行う。

② 投稿に関する問い合わせ等の窓口は事務局とする。

jstnap@akamon.ac.jp

〔附則〕

2019年07月17日 施行

2021年05月01日 改正

2024年10月25日 改正

2025年06月05日 改正